

令和8年度 北日本医療福祉専門学校  
薬業科シラバス（2年）

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
マーケティング論Ⅱ	30時間	15コマ	2単位	2学年 (後期)	必修
【学修内容】 薬業科において、登録販売者を志す学生が、医薬品の流通についての基本的知識を理解するために、リテールマーケティング（販売士）検定試験における、①小売業の種類、②マーチャンドライジング、③ストアオペレーション、④マーケティング、⑤販売・経営管理の内容を理解し、登録販売者に求められる流通の知識を習得する。本講義では、最初に小売業の種類に関する基礎知識を学んだ上で、小売業における販売戦略を考察し、用語について理解を深め、マーケティングの手法を理解していく。					
【到達目標】 本講義における到達目標は、マーケティングに関する幅広い知識を習得し、学んだ内容を現場での実践に応用していくことができるようになることである。また、講義を通じて、リテールマーケティング（販売士）3級受験に対応する知識を得ることが出来るように、講義を展開する。具体的な学習内容をうけての到達目標は以下の通りである： ①流通における小売業の基本、店舗形態別小売業の基本的役割について説明することができる。 ②「商品」の基本について学び、商品計画、価格設定、在庫管理など、店舗において展開される種々の販売のための方略を身に付けていく。 ③店舗の運営について、その1日のサイクルを知り、店舗において展開される具体的業務内容について知る。講義を通じて店舗における登録販売者としての実践へとつなげていくことができる。					
【授業の方法】 ・講義（教科書・プリント）					
【成績評価の方法と基準】 ・小テスト、授業態度10%、筆記試験90%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 予習：第2回以降、講義の最後に示す教科書の該当箇所を読んでください。（60分程度） 復習：学んだその日のうちに、講義内容に目を通し、疑問点などは調べてみましょう。（60分程度）					
【使用教材・教具】 ・秀和システム 販売士（リテールマーケティング）検定試験 テキスト&問題集 3級					
【履修にあたっての留意点】 ・講義中の私語や無許可で席を離れることは認めません。真摯に講義に取り組む姿勢で臨んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
生理学	30時間	15コマ	2単位	2学年 (前期)	必修
【学修内容】 解剖生理学的理解、加齢、障害などの症状について学ぶ。 医薬品が人体に与える影響について学ぶ。					
【到達目標】 解剖生理の理解ができる 疾病や障害について理解ができる。 医薬品が人体に与える影響を理解できる。					
【授業の方法】 ・講義					
【成績評価の方法と基準】 ・授業態度、小テスト10% 筆記試験90%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】 ・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上巻 過去問題集 適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】 ・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬理学Ⅱ	60時間	30コマ	4単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
薬がどのように効いていくのか、時間的経過や効能・副作用について学ぶ。					
【到達目標】					
薬効について理解し、症状に合った適切な薬について理解することができる。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
ワークシート20% 筆記試験80% 前期50%、後期50%とし総合評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んできてください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 下巻 適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
医薬品管理学Ⅱ	30時間	15コマ	2単位	2学年 (前期)	必修
【学修内容】					
1. 適切な医薬品の選択と受診勧奨、薬害の歴史について理解する。 2. 一般医薬品で対処できる症状や医薬品による副作用について学ぶ。 3. 医薬品販売の法令・医薬品の適正使用・安全対策に関してクラス内で情報共有する。					
【到達目標】					
1. 一般医薬品で対処可能な症状について理解できる。 2. 販売時のコミュニケーションについて理解できる。 3. 薬害の歴史について理解できる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・小テスト10%、筆記試験90%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。					
【使用教材・教具】					
・登録販売者試験 受験対策共通テキスト 上巻 ・その他適宜資料					
【履修にあたっての留意点】					
・携帯電話の持ち込みは禁止します。グループワークにも積極的に参加しましょう。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
医薬品管理学Ⅲ	30時間	15コマ	2単位	2学年 (後期)	必修
【学修内容】					
医薬品の添付文書の読み方や購入者に対する情報提供について学ぶ。 健康被害の救済制度について学ぶ。					
【到達目標】					
医薬品の適正使用や安全対策について理解できる。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・小テスト、授業態度10% 筆記試験90%					

【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上巻 適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅲ	60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
登録販売者試験に向けての学習のまとめを行うことで、試験に対応できるようにする。					
【到達目標】					
登録販売者試験の過去問題が7割以上の正答ができる。					
【授業の方法】					
(1) 演習					
・登録販売者試験対策共通テキスト・過去問題集を使用し、登録販売者試験に備える。					
・各教科で履修した項目について振り返りを行い、弱点部分が克服できるように講義演習を行う。					
(2) グループワーク					
・現場実習(実務経験)に関してクラス内で情報共有する。					
・登録販売者としての店舗運営力を身に付ける。					
【成績評価の方法と基準】					
高橋 菜穂子：小テスト、授業態度 20% 筆記試験 80%					
高村 幸生：小テスト、授業態度 30% 筆記試験 70%					
それぞれ50%ずつの評価を合わせて総合評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。					
【使用教材・教具】					
・登録販売者試験 受験対策共通テキスト下巻					
・その他適宜資料					
【履修にあたっての留意点】					
・特になし。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅳ	60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
ドラッグストア、薬局にある商品の販売の仕方、専門用語の取り扱いを知る。					
【到達目標】					
ドラッグストア、薬局にある商品の販売の仕方、専門用語の取り扱いを習得する。					
【授業の方法】					
・演習					
・グループワーク					
【成績評価の方法と基準】					
高村 幸生：小テスト、授業態度 10% 筆記試験 90%					
菊池 彩子：筆記試験 100%					
高村 70%、菊池 30%とし総合評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・様々な店舗(ドラッグストア・総合スーパー)に行き、店舗運営力を高めてもらう。					
【使用教材・教具】					
・適宜資料等					
【履修にあたっての留意点】					
・携帯電話の持ち込みを禁止します。計画的に作成物に取り組みましょう。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
栄養学	30 時間	15 コマ	2 単位	2 学年(30) (後期)	必修
【学修内容】					
栄養について学び、生活を支援することの重要性を学ぶ。					
【到達目標】					
1. 栄養、健康食品の理解をすることができる。 2. 高齢者や障害者に対応した調理方法、食事方法を理解できる。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・2 学年：出席授業態度・取組 20～30%、レポート・小テスト・筆記試験 70～80%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んできてください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・ヘルスケアに関する実践知識編第 2 巻 適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
調剤報酬事務Ⅰ	30 時間	15 コマ	1 単位	2 学年 (後期)	必修
【学修内容】					
1. 調剤に必要な医薬品の定義と分類、医療保険制度について学ぶ。					
【到達目標】					
1. 調剤に関する基礎知識を修得する。 2. 保険薬局での調剤に関しての知識理解を目的とする。					
【授業の方法】					
・演習 ・グループワーク					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度 10% 小テスト・課題提出 20% 筆記試験 70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。					
【使用教材・教具】					
・ソラスト 調剤薬局事務テキスト1 医療保険制度 電卓 定規 ・その他適宜資料					
【履修にあたっての留意点】					
・携帯電話等の持ち込みを禁止します。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
調剤報酬事務Ⅱ	30 時間	15 コマ	1 単位	2 学年 (後期)	必修
【学修内容】					
医薬分業、調剤報酬点数に関して学ぶ。					
【到達目標】					
1. 医薬分業について理解できる。 2. 調剤報酬の請求の流れについて理解できる。 3. 認定試験の合格を目指す。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度 10% 小テスト 20%、筆記試験 70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					

復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・調剤薬局事務講座テキスト 適宜資料配布 電卓 定規
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
調剤報酬事務Ⅲ	30時間	15コマ	1単位	2学年 (後期)	必修
【学修内容】					
調剤報酬レセプトについて、具体的に演習する。					
【到達目標】					
調剤報酬レセプトの作成ができる。 認定試験の合格を目指す。					
【授業の方法】					
・演習 ・グループワーク					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度 10% 小テスト 20%、筆記試験 70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・調剤薬局事務講座テキスト 適宜資料配布 電卓 定規					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
メディカルクラークⅠ	60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
医療保険制度や患者接遇マナー、診療報酬点数算定、診療明細書についての学習。					
【到達目標】					
1. 医療事務技能審査試験合格をめざす。 2. 医療事務の基本的知識、技術を習得する。					
【授業の方法】					
・演習 ・グループワーク					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度、小テスト 30%、筆記試験 70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・医療事務講座テキスト 適宜資料配布 電卓					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
メディカルクラークⅡ	60時間	30コマ	2単位	2学年 (後期)	必修
【学修内容】					
医療保険制度や患者接遇マナー、診療報酬点数算定、診療明細書についての学習。					
【到達目標】					
1. 医療事務技能審査試験合格をめざす。 2. 医療事務の基本的知識、技術を習得する。					
【授業の方法】					

・演習
【成績評価の方法と基準】
・授業態度・小テスト 30%、筆記試験 70%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・医療事務講座テキスト 適宜資料配布 電卓
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
メディカルクラークⅢ	60 時間	30 コマ	2 単位	2 学年 (後期)	必修
【学修内容】					
医療保険制度や患者接遇マナー、診療報酬点数算定、診療明細書についての学習。					
【到達目標】					
1. 医療事務技能審査試験合格をめざす。 2. 医療事務の基本的知識、技術を習得する。					
【授業の方法】					
・演習 ・グループワーク					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度、小テスト 30% 筆記試験 70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・医療事務講座テキスト レセプト点検攻略ドリル 適宜資料配布 電卓					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
現場実習	240 時間	—	8 単位	2 学年 (前期)	必修
【学修内容】					
主に一般用医薬品の販売等の直接の業務。					
【到達目標】					
1. 担当売り場の管理、売上向上のための連携、引継ぎ準備、スーパーバイズ能力の獲得が行える。 2. 能動的な接客、商品説明、業務引継ぎスーパーバイザー的役割が行える。 3. 指導力・管理力・リスクマネジメント力の獲得、登録販売者試験に向けての応用知識獲得を目指す。					
【授業の方法】					
・実習					
【成績評価の方法と基準】					
・現場評価 0.4 巡回教員評価 0.6 合わせて総合評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・教員の巡回を利用し、実習でのつまづきを解消して行きましょう。					
【使用教材・教具】					
・接遇とマナー 登録販売者試験受験対策共通テキスト 本校現場実習要綱					
【履修にあたっての留意点】					
・提出物は遅れないように提出すること。					